保存版

緊急地震速報／防災情報サービス

スタートガイド

■お困りのときは

WEB
ジェイコムサポート 検索 cs.myjcom.jp
スマートフォン・タブレットの方はこちら

LINE
ジェイコムサポート LINE 検索 cs.myjcom.jp/line_support
スマートフォン・タブレットの方はこちら

お電話
フリーコール 0120-99-3652（キューキュー 365日） AM9:00～PM6:00［年中無休］

緊急地震速報端末の操作方法

緊急地震速報端末（以降、専用端末）について

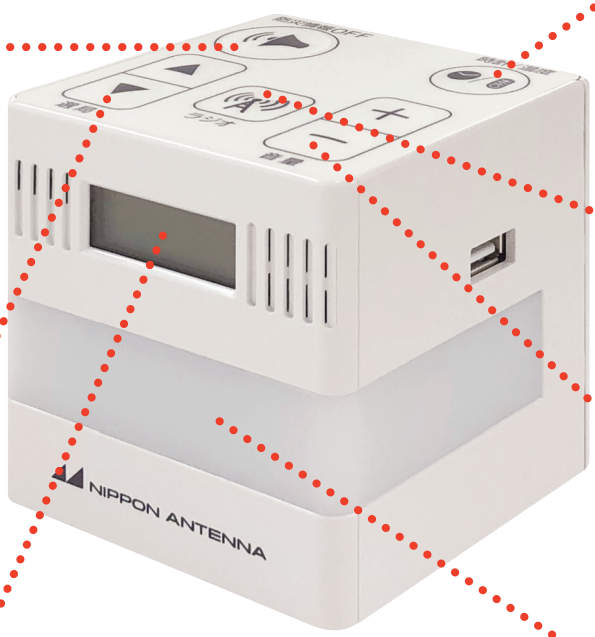
専用端末のボタンや機能についてご説明します。

防災情報OFFボタン
災害時テレビ起動の一時停止や設定を行います。
操作方法はP.04をご確認ください。

※メールボタンとなっている機器もあります。

選局ボタン
長押しするとラジオの放送局を自動で選局します。

液晶画面
震度や時間、ラジオの周波数が表示されます。



緊急地震速報端末

時計／温度ボタン
時計／温度が液晶画面に表示されます。

ラジオボタン
ラジオが起動します。

音量ボタン
音量の調節ができます。

LED発光部
背面のボタンを押すとLEDライトが発光します。

いざという時にお知らせできない事を未然に防ぐために、定期的な専用端末の正常性確認をお願いします。
※確認方法は、P.07をご確認ください。

緊急地震速報／防災情報サービスでできること

1 緊急地震速報

気象庁の観測データを基に
震度と到達時間を専用端末が計算。
お住まいの地域ごとに
ピンポイントの情報をいち早く
お知らせします。

2 防災行政無線の再送信 ※一部地方公共団体のみの提供となります。

大規模災害発生時の
防災情報
「緊急告知放送」や
地域の生活・防災情報
「告知放送」を
お知らせします。

【防災行政無線の再送信とは】一部の地方公共団体が提供する防災行政無線放送などの補完として、専用端末から音声を再送信するものです。再送信内容については、地方公共団体にお問い合わせください。サービス詳細およびサービスを提供している地方公共団体の問い合わせ先については、表紙に記載のフリーコールまでお問い合わせください。

3 FMラジオ

災害時は取り外し、FMラジオとして持ち運ぶことができます。

ラジオボタンを押す。

選局ボタンの▲または▼を約2秒以上長押しすると、自動的に次の放送局を探して受信します。▲は周波数が高い方、▼は周波数が低い方の放送局を受信します。

4 災害時テレビ起動

お住いの自治体が発令する避難情報、
気象庁が発表する気象情報等をテレビ画面に表示します。
テレビ表示と併せて専用端末のランプが点滅し、
「避難指示が発表されました」等を音声でお知らせします。

【災害時テレビ起動のご利用にあたって】

■災害時テレビ起動は、気象警報等が発表されたことを速やかにお知らせし、
テレビ（NHK等）・ラジオ等での最新情報の収集を促すための機能です。

■災害時テレビ起動では、お住まいの自治体から発令された避難情報をお知らせします。
避難情報は一部区域を指定し発令される場合があるため、必ずしもお住まいの住所が避難対象とは限りません。

■ご利用にはテレビのHDMI連動設定が必要です。設定の方法はテレビの取扱説明書等をご確認ください。

■テレビによっては自動で表示できない場合があります。

災害時テレビ起動の設定を変更したい時

設定ではテレビ連動OFF、警報レベルOFF（特別警報以上のみ動作）、全機能OFFの選択が可能です。

専用端末の防災情報OFFボタンを**長押し**すると設定画面に切換ります。

※メールボタンとなっている機器もあります。

選局ボタンの▲または▼でカーソルを上下し、表示機能を選択。

防災情報OFFボタンの短押しで決定。

※操作せずに30秒経過すると、選択中の設定に決定され、元の画面に戻ります。

※操作時は、自動でテレビを起動または自動で入力切換を行い、上記の設定画面を表示します。

災害時テレビ起動を一時停止したい時

自治体からの避難情報等の発報が繰り返される場合（更新頻度が高い場合、発報回数が多い場合がある）などに使用します。

専用端末の防災情報OFFボタンを**短押し**すると設定画面に切換ります。

※メールボタンとなっている機器もあります。

音量ボタンの+または−でカーソルを上下し、一時停止しない、または停止時間（1時間、3時間、6時間、12時間、24時間）を選択。

※選択しない場合は自動的に1時間が選択されます。

防災情報OFFボタンの短押しで決定。

※操作せずに30秒経過すると、選択中の設定に決定され、元の画面に戻ります。

※操作時は、自動でテレビを起動または自動で入力切換を行い、上記の設定画面を表示します。

入力切換について

テレビ画面に戻る場合は、テレビの映像が映るまで繰り返しリモコンの「入力切換」ボタンを押してください。

※画像は一例です。入力切換のボタンはお使いのリモコンによって異なります。

4 災害時テレビ起動（つづき）

自治体からの避難情報や気象庁からの気象警報等が発表されると
テレビを自動起動し、情報を表示します。

新規発令情報
背景色は警報のレベルによって異なります。

警戒メッセージ
警戒メッセージが表示されます。

現在発表中の警報一覧
同地域内で現在発表されている警報等を表示します。
※発表後、7日以上解除されていない警報等は表示しません。

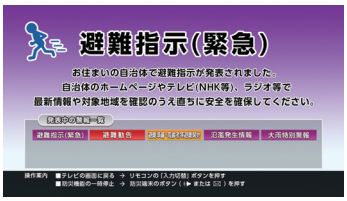
HDMIケーブルは抜かないでください

避難情報

自治体からの避難情報には危険度合いのレベルがあります。レベルに沿った行動をする必要があります。

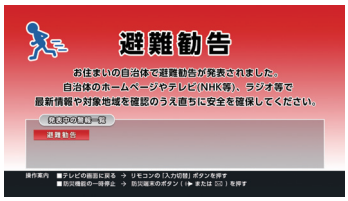
高　緊急度　低

避難指示（緊急）



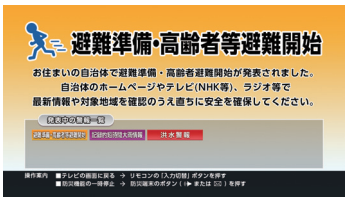
□まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
□外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難勧告



□速やかに避難場所へ避難をしましょう。
□外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難準備・高齢者等避難開始



□避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。
□その他の人は、避難の準備を整えましょう。

必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。
出典：内閣府ホームページ／気象庁ホームページ

気象情報

気象庁は重大な災害が予測される場合や災害が発生した場合に以下の警報等を発表します。警報に沿った行動をする必要があります。

大津波警報
予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合に発表

大雨特別警報
台風や集中豪雨等により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表

大雪特別警報
数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表

暴風特別警報
数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合に発表

暴風雪特別警報
数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合に発表

波浪特別警報
数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高波になると予想される場合に発表

高潮特別警報
数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により高潮になると予想される場合に発表

氾濫発生情報
河川の洪水によって重大な損害が生ずるおそれのある場合に発表（氾濫水への警戒を求める段階）

記録的短時間大雨情報
数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨が予想される場合に発表

噴火速報
噴火の発生事実を迅速に発表

津波警報
予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合に発表

大雨警報
大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

大雪警報
降雪や積雪による住家等の被害や交通障害など、大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表

暴風警報
暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表

暴風雪警報
雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表

波浪警報
高波による遭難や沿岸施設の被害など、重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表

高潮警報
台風や低気圧等による異常な潮位上昇により重大な災害が発生するおそれがあると予想したときに発表

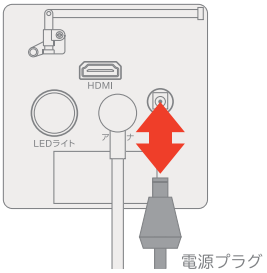
氾濫危険情報
河川の洪水によって重大な損害が生ずるおそれのある場合に発表（いつ氾濫してもおかしくない状態）

洪水警報
河川の上流域での大雨や融雪によって下流で生じる増水や氾濫により重大な洪水害が発生するおそれがあると予想したときに発表

専用端末のメンテナンスについて

定期的な動作確認方法

いざという時にお知らせできない事を未然に防ぐために、定期的な専用端末の正常性確認をお願いします。



専用端末の裏側にある電源プラグを本体から外し、5秒程度空けた後、元の差込口に挿し戻します。

電源プラグを差し戻してから約2～3分後に、正しい時刻が表示されているかをご確認ください。

正しい時刻が表示される場合

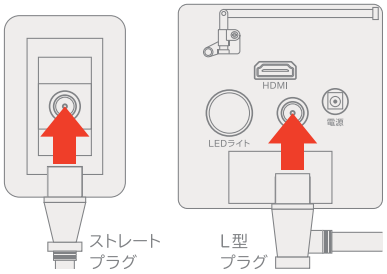
専用端末は正常です。
定期的にこの手順で動作確認をお願いします。

正しい時刻が表示されない場合

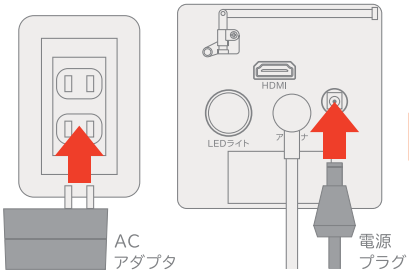
専用端末の故障などが考えられますので表紙に記載のフリーコールまでご連絡ください。

再接続方法

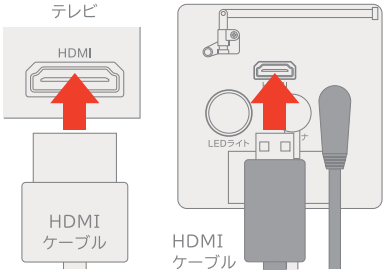
非常持出し時や移設や清掃等でケーブルを抜いた場合、以下の手順で接続を行います。



付属の同軸ケーブルで専用端末のアンテナコネクタとテレビコンセントを接続する。



電源プラグを電源端子に接続後、ACアダプタをAC100Vコンセントに接続する。液晶に正しい時間が表示されたら完了。



災害時テレビ起動をご利用される場合は背面のHDMI端子とテレビをHDMIケーブルで直接接続する。

※テレビでの起動方法はP.03をご確認ください。

発報テストを行う

テレビ接続時の動作テストやどのように発報されるかを確認するためデモ機能を有しています。

専用端末のラジオボタンを長押ししたまま、音量ボタンを押す。

〈ラジオボタンと音量＋ボタン〉
緊急地震速報テスト報（震度4）の後に「大雨特別警報」が表示されます。

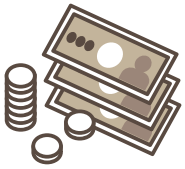
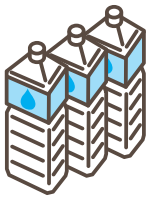
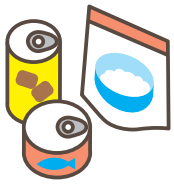
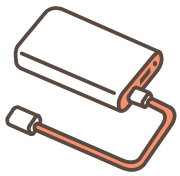
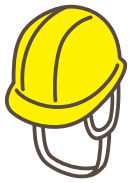
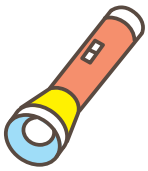
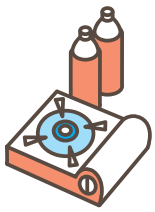
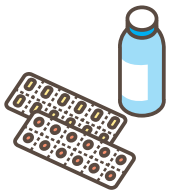
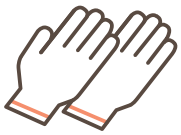
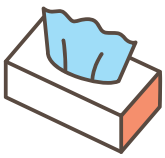
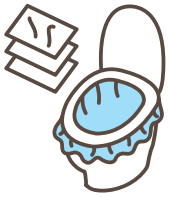
〈ラジオボタンと音量－ボタン〉
緊急地震速報テスト報（震度5強）の後に「避難指示」が表示されます。

故障かなと思ったら

Q スピーカーから音声が聞こえない	A 音量が「0」になっていませんか
Q 液晶画面に時刻が表示されない	A ACアダプタ、同軸ケーブルが抜けていませんか
Q 液晶画面の時刻が点滅している	A 同軸ケーブルが抜けていませんか
Q 災害時テレビ起動がテレビに表示されない	A HDMIケーブルの接続やテレビの設定等をご確認ください
Q 災害時テレビ起動の画面からテレビ視聴に戻れない	A P.04「入力切換について」をご確認ください
Q 問題が改善しない場合は	A 表紙に記載のフリーコールまでご連絡ください

防災グッズチェックシート

防災に備えて必要なグッズをチェックしよう！

- ☐  現 金
- ☐  水（1日2リットル×7日分）
- ☐  非常食（4～5日分）
- ☐  モバイルバッテリー
- ☐ リュックサック
- ☐  ヘルメット
- ☐ ロープ
- ☐ 歩きやすい運動靴
- ☐  懐中電灯
- ☐ LEDランタン
- ☐ 予備の乾電池
- ☐  カセットコンロ
カセットボンベ
- ☐ 救急セット
- ☐  常備薬
- ☐ マスク
- ☐  軍手
- ☐  ウエットティッシュ
- ☐ ポリ袋（大・中・小、各50枚程度）
- ☐  簡易トイレ（60～70枚）
- ☐ ホイッスル

メモ

災害・避難メモ

いざというときの避難ルールを
家族全員で話し合い、記入しましょう。

家族の集合場所

（例）〇〇中学校

家族の安否確認方法

（例）災害伝言ダイヤル171

大切な連絡先

（例）勤務先、学校、公的機関など

緊急地震速報の技術的限界について

緊急地震速報には、以下の「技術的限界」があります。

①震源が近い場合には、お知らせが間に合わない場合があります。
②お知らせする震度に、±1程度の誤差が生じる場合があります。
③落雷による地震計の故障などで、誤報が発生する場合があります。
④深発地震（震源が非常に深い地震）や複数の地震がほぼ同時に発生した場合には、的確なお知らせができない場合があります。
※詳しくは、気象庁のホームページなどでご確認いただけます。

〈ご注意〉
※予測震度と猶予時間は、お住まいの郵便番号が示す区域単位で計算します。
※当社は、緊急地震速報／防災情報サービスのご利用によって起こるあらゆる損害について、一切の責任を負いません。
※専用端末には、お客さま宅の情報が設定されておりますので、設置場所を変更される場合などは、
表紙に記載のフリーコールまでご連絡ください。
※専用端末は貸与品ですので、解約の際は作業員が撤去に伺います。
※停電時には使用できなくなります。
※当社独自の計算方式を使用しており、気象庁発表の緊急地震速報とは異なる予想結果となる場合があります。

※2025年2月末現在（一部除く）。※会社名・製品名・サービス名は、各社の登録商標または商標です。一部申請中のものを含みます。
※画面・イラストはイメージです。画面は予告なく変更となる場合があります。